



方面総監統率方針
任務の完遂

発行所
陸上自衛隊
中部方面総監部広報室
〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
電話…072-(728)0001

方面航空隊統一編隊飛行訓練

総監年頭の辞

中部方面総監（岸川陸将）は、平成31年1月9日（水）、中部方面航空隊統一編隊訓練に併せて大阪府上空から年頭の辞を述べた。



統一編隊飛行

本訓練は、中部方面航空隊がこれまで練成してきた編隊飛行技術を、新年の大空で統一発揮する目的で例年実施されている。

本年は、方面航空隊長（森1佐）以下約400名、航空機17機（UH×10機、AH×4機、CH×3機）が参加した。

統一編隊は、訓練開始式における森隊長の訓示に引き続き、伊丹駐屯地から離陸した方面総監搭乗機と天王山（京都府八幡市）上空で合流し、一糸乱れぬ隊形を保持しつつ整齊と大阪、京都、奈良の上空を約1時間にわたって飛行した。

その際、中部方面総監から中部方面隊全隊員に対する年頭の辞が機上（UH-1）より達せられた。



年頭の辞を述べる総監

総監年頭の辞（要旨）

平成31年は、方面隊にとつて、「陸上自衛隊創隊以来の大改革」の2年目であるとともに、防衛・警備任務、災害派遣任務、国際平和協力活動任務等、多様な役割に実効的に対応することが求められる重要な年です。隊員にあつては、総監が着任以来要望している「プロフェッショナルになろう」、「チャレンジしよう」、「心身を鍛えよう」の3点を常に意識し、生々躍動して任務の完遂に、精励してもらいたいと思います。

各駐屯地で成人祝賀行事

中部方面隊の各駐屯地は、恒例の成人行事を実施し、その地域や所在部隊の特性に応じ、趣向を凝らした行事等で新成人を祝福するとともに、隊員個々の更なる活躍を祈願した。

新成人達は、20歳という節目を迎え、社会人として、自衛官として、国防という崇高な任務への誇りと地域社会への貢献という志を新たにしました。

新成人となった第3高射特科大隊（青野原駐屯地）稲葉3曹（20）は、「社会人として与えられた義務を全うし、「常在戦場」の気持ちで任務完了のため努力します」と述べ、また、中部方面通信群（伊丹駐屯地）丹野3曹（20）は「成人とともに与えられた権利と責任を十分に自覚し、それにふさわしい行動をとる」と力強く決意を述べた。



松山駐屯地（FH-70綱引き）



伊丹駐屯地（歳の数だけ縄跳び）



桂駐屯地（喜春庵での座禅）

各部隊「生々躍動」訓練始め

中部方面隊の各部隊等は新年を迎え、それぞれ訓練始めを実施した。平成31年の年頭にあたり、各部隊等は、団結の強化と士気の高揚を図るとともに、今年一年の訓練等における安全祈願及び趣向を凝らした様々な訓練で新年を始動した。



第10師団司令部(徒步行進)



第3師団司令部(人文字)



總監部(任務遂遂祈願)



第3特殊武器防護隊(空砲射撃)



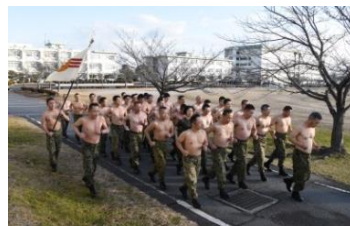
第33普通科連隊(人文字)



第17普通科連隊(かけ足)



第10戦車大隊(武装走)



中部方面混成団(かけ足)



第14特科隊(空包射撃)

豚コレラに係る災害派遣

第10師団 第35普通科連隊



24時間3交代で任務遂行



汚染された飼料の除去作業

第10師団(師団長 甲斐陸将)は、岐阜県関市での豚コレラ発生に伴い、平成30年12月25日(火)5時半、岐阜県知事から災害派遣要請を受け、第35普通科連隊基幹をもって養豚場での殺処分支援(豚の追い出し、詰め込み)及び汚染処理支援等の災害派遣活動を実施した。第35普通科連隊は、4コ対処隊(1コ対処班約100名)を編成し、24時間3交代で活動を継続し昼夜を分かたず、豚の追い出し、詰め込み、飼料の運搬、豚舎周辺地域の消毒作業等の任務にあたった。平成30年12月27日20時、岐阜県知事からの撤収要請に基づき災害派遣活動は終了した。同日、古田肇岐阜県知事が宿泊施設を訪れ、活動した隊員に対し、謝意を述べられた。

迫撃砲弾 着弾事故の再発防止施策を徹底

中部方面隊は、平成31年1月11日(金)伊丹駐屯地において、方面隊隷下の81mm迫撃砲保有部隊訓練主務者等を總監部に参集し、あいち野演習場における迫撃砲弾の着弾による事故に係る再発防止策について徹底した。防衛副長による説示に引き続き、事故の概要と再発防止策に関する教育を実施し、じ後、駐屯地グラウンドにおいて、砲操作の点検要領を実員展示により説明した。教育終了後の意見交換会では、再発防止策について活発な議論がなされた。中部方面隊は、平成31年1月21日(月)、陸上自衛隊において、再発防止策の徹底が完了したこと、あいち野演習場における実弾射撃訓練を再開した。



砲操作の実員展示(伊丹駐屯地)

衛生科 技術競技会

戦傷治療集合訓練の成果を発揮

中部方面衛生隊(隊長 抱井1佐)は、平成31年1月10日(木)三宿駐屯地で実施された衛生科技術競技会に参加した。本競技会では、第一線救護(第1ステーション)、収容所治療(第2ステーション)を通じ、戦傷治療能力及び職務遂行に必要な識能の向上を図った。中部方面衛生隊は、全員救命を信念に、衛生科業務を行い、第2ステーションで優秀な成績を収めた。



収容所治療の状況

中部方面隊音楽まつり 約6,900名の聴衆を魅了 躍動感あふれる演奏・演技を披露



ゲスト出演（兵庫高校書道部）

『生々躍動 Challenge for the Future!』

まずは、各師・旅団の所在する音楽隊の地域色を出したバラエティー豊かなドリル演奏曲等を披露した。

第2幕では、方面隊10個隊の自衛太鼓約100名による和太鼓合同演奏が行われ、これぞ自衛隊と言った一糸乱れぬばち捌きと統制美が観客の目を釘づけにした。

第3幕では、激動の平成30年間に音楽と映像で綴ったメモリアルパフォーマンスを披露、その時々の流行を想い出しながら時代の流れに思いをはせた。

第4幕では、スペシャルゲストの兵庫高等学校11名の生徒が息の合った書道パフォーマンスを初めて披露し「生々躍動」の文字を創作的に書き上げ、掲げられた書の迫力に会場からは大きな歓声があがった。

最終章に入り、全音楽隊による合同演奏が始まると、会場の雰囲気は最高潮に達し、フィナーレは、全出演者で合唱し、約2時間にもわたる音楽まつりは、拍手喝采の中で、盛会のうちに終了した。

中部方面隊は、平成31年1月13日（日）と14日（月）、平成30年度中部方面隊音楽まつりを兵庫県立芸術文化センター（兵庫県西宮市）において開催した。今年、テーマを、『生々躍動 Challenge for the Future!』とし、総勢約400名の出演者が幅広いジャンルによる音楽パフォーマンスを披露した。公開リハーサル等を含め、延べ約6,900名の観客を動員し、音楽演奏等を通じて、自衛隊への信頼感の向上及び募集情報の獲得に寄与した。

音楽まつりは、中部方面隊区内5つの音楽隊による颯爽潑刺としたパレードで幕を開け、



太鼓隊の合同演奏



全出演者によるフィナーレ

功績を称え22名を表彰

中部方面隊総監（岸川陸将）は、平成31年1月13日（日）及び14日（月）、兵庫県宝塚市及び西宮市等において、優秀隊員招待行事を実施した。

この行事には、さまざまな分野で顕著な功績を挙げた優秀隊員22名（自衛官19名、防衛技官1名、即応予備自衛官1名、予備自衛官1名）とその御家族が招かれた。

14日（月）、宝塚市内で行われた顕彰状授与式では、総監から優秀隊員ひとりひとりに顕彰状及び記念品が授与された。引き続き行われた祝賀会で優秀隊員等を1組ずつ紹介。隊員からは、家族等に対する日頃の感謝の言葉が述べ

優秀隊員表彰式及び招待行事

られ、和やかな雰囲気のまま祝賀会は進行した。

翌日、14日（月）は、中部方面隊音楽まつりを鑑賞するとともに、航空機体験搭乗（八尾駐屯地）を行い、2日間の行事を終了した。

優秀隊員に選考された第8普通科連隊（米子駐屯地）小田剛史3曹（30）は「名誉ある賞をいただき、身の引き締まる思いです。今後は、特技である射撃手としての能力の向上に努めるとともに、部隊に貢献できるような精進し、後輩隊員の育成に努めて行きたい」と述べた。



記念撮影

防衛大学校（一般） 最終合格者を発表

中部方面隊の各地方協力本部は、平成31年1月25日（金）平成30年度防衛大学校（一般）の合格者を発表した。

中部方面隊の志願者数は、約3,500名で最終合格者は、370名であった。

各方面隊の合格者	
北部方面隊	38名
東北部方面隊	44名
東方面隊	366名
中部方面隊	370名
西部方面隊	305名

徳島駐屯地業務隊

徳島駐屯地は、平成24年3月に新設された徳島県唯一の駐屯地であり、駐屯地の厚生業務を担う徳島駐屯地業務隊も同時期に新編された部隊である。新編当初から家族支援態勢を構築するため、関係部外団体（徳島県自衛隊家族会、徳島県隊友会等）との交流を深めている。

毎年、家族支援に関する会合を実施し、関係部外団体、第14施設隊、第14飛行隊及び自衛隊徳島地方協力本部の各担当者と綿密に調整し、関係部外団体等と協力した家族支援を段階的に進め、平成29年8月30日に家族会及び隊友会と家族支援について三者協定を締結した。

平成30年度は、6月・9月に家族支援に関する会合を実施し、隊員からの安否確認などの支援要望に対して支援を担当する関係部外団体の会員の指定及び支援内容について調整を重ねた。現在までに支援要望92名に対して、会員の指定を実施するとともに、今後の家族支援施策及び中部方面隊の取組みについて説明し、更なる協力を依頼した。

年末には、駐屯地行事に併せて、支援を要望する隊員及び隊員家族と関係部外団体等との顔合わせを実施した。今後

ふあみさぽ通信 (連載:第26回)

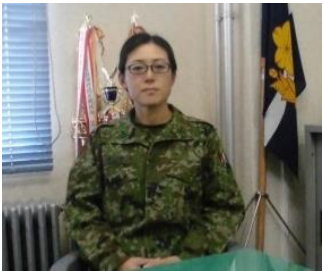
も家族支援態勢の確立に努め、隊員が安心して任務に邁進できるよう、関係部外団体等とより一層協力関係を強化していく。



6月に実施した家族支援担当者会合の様子

隊員が安心して任務に邁進できるよう、関係部外団体等とより一層協力関係を強化していく。

「部隊の尺度」



第13後方支援隊 第一整備中隊長 (海田市駐屯地) 3等陸佐 日向 ゆう子

中隊長を拝命して約一年が経とうとしています。この間、北方機動演習、災害派遣等様々な任務に直面し、悩まなかった日はありません。「これで良いのか」と自省しきりの毎日ですが、その瞬間にいつも思い出すのは、陸曹・初級幹部時代に仕えた上司や共に戦った部下の姿です。中隊長として「部隊のあるべき姿」を思い浮かべる時、当時の指揮官の行動や表情が自分の脳裏に浮かびます。厳しい局面を不屈の精神で乗り越えた部下の姿を思い出します。今自分が中隊長として勤務できているのは上司がその背中を見せ、陸曹がそのプライドを見せてくれたからです。厳しい任務に耐えうる「部隊の尺度」を彼らが与えてくれたのです。人（指揮官）が部隊を育成するのは当然のことながら、部隊が人を成長させてくれるのもまた紛れもない事実です。

我が中隊は後方支援隊の中でも全般支援に任ずる整備部隊です。また海田市駐屯地は西方への機動経路上の要点に位置するため、通過部隊に対する整備支援の重要性は自明の理です。この特性から、我が中隊は特に柔軟性と強靭性を同時に保持せねばなりません。経験が自分に与えてくれた尺度を基に、多様な任務に耐えうる強靭な中隊を練成していく所存です。

うちのご飯 「春日井駐屯地」



まんぷくラーメン (イメージ)

春日井駐屯地は昭和42年に第10施設大隊の豊川駐屯地からの移駐により誕生し、平成29年には駐屯地創立50周年を迎えました。

春日井市は、名古屋圏の北東部にあり、当駐屯地は10師団司令部のある名古屋守山区の守山駐屯地にも隣接しています。また、東名・名神高速道路（春日井・小牧IC）が近傍にあり、交通の便が良く多くの部隊の通過支援を行っています。

春日井駐屯地では月に一度、全国各地のご当地献立「北海道の石狩鍋、青森県の煮干しラーメン、石川県の金沢カレー」などを提供して、どれも好評をいただいております。支援基盤駐屯地としての春日井駐屯地には全国各地から隊員が集まり、食堂を利用した隊員から「ここに来て、地元味が食べられる。」と喜びの声も多くいただいております。

また、多くの隊員が好む麺料理を春日井駐屯地独自のご当地メニューとして考案中です。お立ち寄りの際はぜひ食べにきてください。

わひらめ★プレイヤー



職場のオリエンテーション (本人中央) 阪神病院 (川西駐屯地) 曹長 水田 桜子



(本人左)

自己紹介をお願いします。

- Q 出身地を教えてください。
- A 広島県 広島市
- Q 入隊年と採用場所を教えてください。
- A 平成26年 広島地本
- Q 自己PRをお願いします。
- A 迷ったらとりあえずやってみて、失敗してもへこたれない、打たれ強い性格です。

現在の勤務について教えてください。

- Q 現職を教えてください。
- A 阪神病院の内科外科混合病棟で看護師として勤務しています。
- Q 魅力・やりがいをお願いします。
- A たくさんの人と関わって、その人が元気になるための手伝いをさせて頂けることです。
- Q 苦労したことを教えてください。
- A 国家試験直前には人生で1番勉強しました。

そのほかの事を教えてください。

- Q あなたが一番自信があることは何ですか。
- A 想像力の豊かさです。
- Q 座右の銘があれば教えてください。
- A 永久に生きる積りで学べ、明日死ぬ積りで行え。
- Q プライベートで今一番の関心事を教えてください。
- A 同期と観に行きたい舞台がたくさんあって迷っています。
- Q 最近のマイブームを教えてください。
- A SNSで収録のユツの動画を見ることです。
- Q 最後に一言
- A 立派な迷彩の天使になれるよう、これからも精一杯頑張ります！